



第8回 ローカルサミット in 酒田・庄内 大会要項

※庄内空港・酒田駅から会場までの送迎をいたします。詳しくはHP申込フォームでご確認ください。

OPTION

10/10[±]

フィールドワーク 13:30

受付

① 14:00

鶴岡市手向(とうげ)
地区ふるさとセンター

②～⑤ 13:00

かんぼの宿 酒田

①羽黒山修験道入門 一出羽三山を「感じる」―
鶴岡市／羽黒山、出羽三山神社、羽黒山参詣所「斎館」他

②パワーシフトを庄内から
酒田市／火力発電施設、風力発電施設、LPG HYBRID車見学 他

③里山を味わい、酒のまちの文化にふれる
酒田市／榎の川酒造 他

④商人の街の今／未来展望と街めぐり
酒田市／相馬樓、商店街、海向寺 他

⑤町・川・港、水辺から酒田を再デザイン
酒田市／山居倉庫、旧酒田商業高校跡地 他

※①は羽黒山泊コース、②～⑤は酒田泊コースとなります

オプション

前夜祭ミーティング 19:00

会場／酒田柳小路「北前横丁」屋台村 他

10/11^日

受付 9:00

東北公益文科大学
カフェテリア

基調講演 10:00

パネルディスカッション 10:50

昼食 12:15

分科会 13:00

会場／東北公益文科大学

大懇親会 17:15

会場／東北公益文科大学カフェテリア

オプション

酒田ナイトツアー 20:00

～ナイトスポット白ばら～

会場／白ばら(東北・北海道唯一のグランドキャバレー)

ゲスト／白崎映美&白ばらボーイズ、越路よう子

10/12^{月・祝}

受付 8:30

東北公益文科大学
大教室

シンポジウム 9:00

会場／東北公益文科大学

酒田まちなか散策 12:30

会場／山王くらぶ(企画展 北前船ひな紀行)、酒田市街地
酒田ラーメン・お寿司など、ご当地グルメをご堪能いただけます。

オプション

大反省会 18:00

会場／湯野浜温泉 亀や

ご夕食は「食の都庄内」親善大使として活躍中の
太田政宏シェフが腕を振ります



第8回 ローカルサミット in 酒田・庄内 参加申し込み

→ → → お申込みは

参加、宿泊、交通について

※下記掲載の費用は全て税込価格です。

■参加費

[全日程] 18,000円

[10/10～11] 12,000円 [10/11～12] 12,000円

(庄内地域から参加される方は別紙にてご案内いたします)

オプション(オプションは別途参加費が必要です)

10日／前夜祭ミーティング 3,000円

11日／酒田ナイトツアー 白ばら 6,000円

12日／大反省会 湯野浜温泉亀や 16,350円(一泊二食付、二次会費込)

■宿泊費

宿泊先は団体予約で確保しておりますので、1室3～4名の相部屋となります。

お一人様 10,000円(一泊あたり／朝食付き)

※特段の事情により個室をご希望の方は、下記問い合わせ先までご相談ください。

■申込み締切／9月25日(金)

■お申込み方法

参加のお申込み、参加費(宿泊費)のお支払いは事前登録／振込のみとなります。

期日まで下記の口座へ振り込み手続きをお願いいたします。

【銀行名】山形銀行 酒田支店

【預金種目】普通預金

【口座番号】3114104

【口座名】第8回ローカルサミットin酒田・庄内実行委員会

(ダイハチカイローカルサミットinサカタ・ショウナイジッコウインカイ)

【入金期限】9月30日(水)

※振込手数料は、申込者負担となります

※お振込後の参加費のご返金はいたしかねますので、何とぞご了承ください。

(本人確認、入金確認、受付完了のお知らせは入金確認後メールをお送りします。

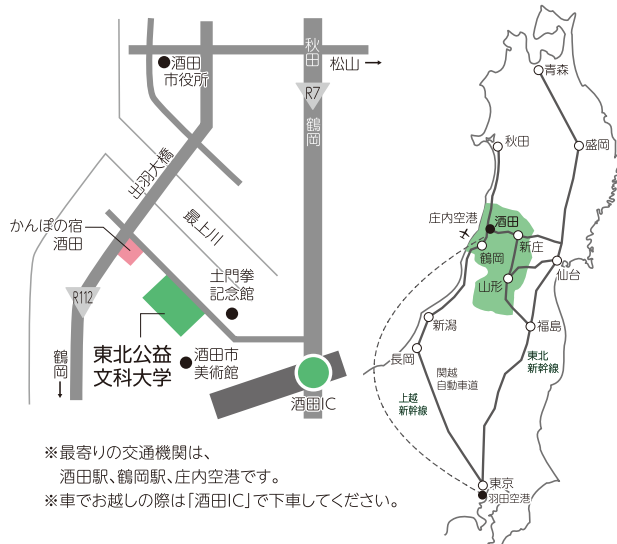
申込フォームと同一名義での振込、連絡用メールアドレスの記入をお願いいたします)

■アクセス

酒田キャンパス(公益学部) 〒998-8580 山形県酒田市飯森山3-5-1

TEL 0234-41-1111

http://www.koeki-u.ac.jp



※最寄りの交通機関は、

酒田駅、鶴岡駅、庄内空港です。

※車でお越しの際は「酒田IC」で下車してください。

■お問い合わせ先

ローカルサミット事務局(今井) E-mail / ryoji615@gmail.com

酒田商工会議所青年部 E-mail / local2015sakata@gmail.com

お申込みはこちらから → <http://localsummit.jp/>

[ローカルサミット公式HP]



2015.10/10[±]・11^日・12^月・祝

会場：東北公益文科大学 + 庄内各地

ローカルサミットとは、2008年から、場所文化フォーラム(任意団体(当時)現在は一社)が、NPO法人ものづくり生命文明機構や各地の諸団体等と連携しつつ、全国の幅広い志民との連帯の中で、地域活性化の輪を広げると共に、従来の人間中心の成長至上主義から自然との共生・循環に立脚した価値観への転換を共有しようとするサミット。毎年全国各地で開催しています。



主催：第8回ローカルサミットin酒田・庄内実行委員会

共催：酒田商工会議所青年部／(一社)場所文化フォーラム／NPOものづくり生命文明機構／NPO健康医療開発機構

協力：環境省／酒田市職員自主勉強会「みんな・ど・さがだ」／日本海総合病院／東北公益文科大学

第8回 ローカルサミット in 酒田・庄内

庄内独立宣言 森里川海の理想郷「庄内」から、世界への提言

かつて「陸の孤島」と呼ばれていた、山形県庄内地方。
その庄内に、空港誘致運動が沸き起こったのは、昭和56年のことでした。

地元の悲願とも思えたこの運動に、一人沈黙を貫いた小説家がありました。

彼の名は、藤沢周平。

故郷庄内をこよなく愛し、その小説の中にも故郷をイメージしたといわれる「海坂藩」が、
まるで日本の原風景のように描かれています。

彼曰く「この地に空港が必要なことは分かっている。

しかし、それによって失われる故郷があり、悲しむ人がいることも憶えておいてほしい」と。

時は流れ、庄内空港が開港して四半世紀。

今、高速道路が事業採択され、新幹線の庄内延伸が叫ばれる中、

私たちは、既開発地域の多くが人口や産業の流出に悩む現状を直視しなければなりません。

各地域に共通するのは、拡大成長を求める「都市型の発展」を目指したことです。

高速道路や新幹線は道具であり、決して目的であってはならないのです。

この酒田・庄内が「独立自尊」の精神をもって

中央、全国各地、そして、世界から人を惹きつけるだけの

「自立した地域」になるために何が必要か。

皆さんと一緒に五感で感じ、考え、それを実現するために、

今回のローカルサミットのテーマはあえて「庄内独立」としました。

豊かな食文化、豊富なエネルギー資源に恵まれ、

最近では次世代の産業集積もできつつあるこの地域が「独立」できずして、

どうして日本の未来が語れるでしょうか。

これまで全国の「志民」がローカルサミットで語ってきたこと、

すなわち「確かな未来は懐かしい過去にある」という言葉に象徴されるように、

戊辰戦争に敗れ、中央から隔絶されてきた、ここ庄内だからこそ、

これからの東北復興、そして、日本創生への道筋が見えるかもしれません。

…と、ここまで小難しいことを申し上げましたが、

ここ庄内に古くから伝わる伝統や文化、そして豊かな自然という「場所文化」に触れ、

森里川海の極上の秋の恵みを存分に味わっていただき、

感動の涙と共に、庄内の「支え人」となっていただきたく、

皆さんのご参加を心からお待ちしております。「ようこそ、庄内へ！」

第8回 ローカルサミット in 酒田・庄内実行委員長 前田直之
ローカルサミット事務総長 吉澤保幸

フィールドワーク

羽黒山修験道入門 ―出羽三山を「感じる」―

山伏の導きのもと、門前の街並みを起点に、随神門から国宝五重塔、山頂の出羽三山神社までを散策します。また、早朝勤行を通して修験道の神髄を感じていただき、庄内とその信仰の中心「出羽三山」の今後を考えます。

※このコースは、羽黒山参詣所「斎館」に宿泊、11日朝までの行程となります。

パワーシフトを庄内から

自然エネルギー・代替エネルギーシステムのその力と融合の可能性を巡る！

自分たちのエネルギーは自分たちでつくる。海、山、川という恵まれた自然資源と共存した庄内だからこそ得られるエネルギーの可能性を通して、地方の未来を考えます。火力発電、太陽光、風力、水力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの中から、いくつかの発電施設を視察。また、次世代自動車として話題のLPG ハイブリッドシステムキットのメーカーも見学します。

里山を味わい、酒のまちの文化にふれる

山形県庄内地方は多くの酒蔵を有する酒どころ。蔵人たちは日本酒という伝統文化を世界に発信し、評価される「SAKE」造りに邁進しています。酒どころは米どころ、その背景には美しい里山があり、奥山には豊かな水の源が息づいています。このエリアでは、大小12の滝からなる飽海三大名瀑「十二滝」を散策、酒蔵では仕込みの見学や試飲を通して、酒のまちの文化を味わっていただきます。

※酒蔵のご協力により、酒米の稲刈り体験を企画していますが、気候等の条件により中止となる場合があります。予めご了承ください。

商人の街の今／未来展望と街めぐり

酒田の中心市街地には、3つの商店街があります。商都酒田の文化の発信地だったその境界は現在、地方の商店街が抱える問題に直面しています。当日は3つの小グループに分けて視察、その後、理事長を交えて小会議を設けます。また、酒田舞娘の踊りの鑑賞や、全国に約24体ある即身仏のうちの貴重な2体もご覧いただけます。

町・川・港、水辺から酒田を再デザイン

酒田の観光拠点である山居倉庫、酒田の海の玄関である酒田港、そして市役所新庁舎も完成する中心市街地。これら3つをつなぐ旧酒田商業跡地を活用し、新井田川の水辺から酒田の町を再デザインするアイデアを探ります。

基調講演

赤坂憲雄氏（民俗学者、学習院大学教授）／桜井勝延氏（福島県南相馬市長）

パネルディスカッション

藻谷浩介氏（日本総合研究所調査部主席研究員）／関山和秀氏（Spiber株式会社 取締役兼代表執行役）
中井徳太郎氏（環境省大臣官房審議官）／石田秀輝氏（東北大学 名誉教授、合同会社地球村研究室 代表）
コーディネーター 吉澤保幸氏（ローカルサミット事務総長）

最終セッション／シンポジウム

各大臣からの分科会報告／施政方針演説

次世代を担う若者たちからの代表質問／「庄内独立宣言」

分科会

財務省〔地域間の経済循環―多様な働き方と温かいお金―〕

関山和秀（Spiber株式会社 取締役兼代表執行役）
吉澤保幸（ローカルサミット事務総長）

エネルギー省〔庄内版スマートグリッドの実現に向けて〕

加藤聡（株式会社ウインドパワーさかた 代表取締役社長）
鈴木柊介（一般社団法人エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議 代表理事）

食糧省〔食糧自給「力」の確保に向けて〕

新田嘉七（株式会社平田牧場 代表取締役社長）
長野麻子（NPO ものづくり生命文明機構 常任理事）

厚生省〔安心かつ持続可能な医療と介護〕

島貫隆夫（日本海総合病院 院長代理）
清水昭（三宿病院 脳卒中センター長）

外務省〔地域間連携〕

伊藤秀樹（株式会社清川屋 代表取締役社長）
今井良治（ローカルサミット事務局長）

環境省〔森里川海連携の理想郷としての庄内〕

星野文紘（羽黒山 山伏）
中井徳太郎（環境省大臣官房審議官）

教育省〔育児環境の整備で「子育て天国」の実現+〕

伊藤眞知子（東北公益文科大学 教授）
井上一（学校法人国際学園 理事長、星槎大学 学長）

自治省〔新しい地方自治のかたち〕

本間義紀（酒田市職員自主勉強会「みんな・ど・さがだ」世話人）
田中幹夫（富山県南砺市長）